

岩手県における環境ホルモン農薬に関する資料

本資料は、「平成9 農薬年度農薬流通量調査結果」（岩手県病害虫防除所調べ）をもとに、環境庁「外因性内分泌攪乱物質に関する研究班中間報告」に内分泌攪乱作用（いわゆる環境ホルモン作用）を有すると疑われる化学物質としてリストアップされたものを含む農薬を抜き出し、一覧表にまとめたものである。

流通量は直接的に使用量を示すものではないが、それに近い値と推定されることと、調査の信頼性から、これを資料作成の参考とした。

（参考）環境庁「外因性内分泌攪乱物質問題に関する研究班中間報告」

内分泌攪乱作用を有すると疑われる化学物質のうち

登録・販売されている農薬 20 種

農薬名	用途分類
アトラジン	除草剤
アラクロール	除草剤
エスフェンバレレート	殺虫剤
エンドスルファン(ベンゾエピン)	殺虫剤
カルバリル(NAC)	殺菌殺虫剤
2,4ジクロロフェノキシ酢酸(2,4D、2,4PA)	除草剤
ジコホル(ケルセン)	殺虫剤
ジネブ	殺菌剤
シベルメトリン	殺虫剤
シマジン(CAT)	除草剤
ジラム	殺菌剤
トリフルラリン	除草剤
フェンバレレート	殺虫剤
ベノミル	殺菌剤
ペルメトリン	殺虫剤
マネブ(マンネブ)	殺菌剤
マラチオン(マラソン)	殺虫剤
マンゼブ(マンコゼブ)	殺菌剤
メソミル	殺虫剤
メトリブジン	除草剤